

「町長室」出前懇談会

町の課題を知り、みんなで解決策を考えよう



- 自己決定・自己責任 -

地方分権時代の

問われる自治体

“3つの力”

- 「自治力・財政力・行政力」 -

広報3月号でお知らせした「町長室」出前懇談会（2月12日～18日・9会場）では、参加者の皆さんから日頃感じている多くの素朴な疑問や提言が出されました。今回は、その一部と、前月号の「～町民の素朴な疑問に答えて！～」【町の台所事情】に続いて、【ごみ処理費】について紹介します。

■ 町民から見た素朴な疑問と提言（一部紹介）

財政状況について

- 職員数が平成20年度と平成30年度が66人。人件費の額が違うのはなぜ。
- ふるさと納税の用途は。

上下水道料金滞納対策について

- 美国地区の水道加入率がなぜ低い。
- 払えるのに払わない滞納者が多いのでは。
- 町税などの滞納額はどれくらいあるのか。

教育、子育て支援対策について

- 学校統合問題は話題になっていないのか。
- 海岸のゴミが少なくなり綺麗になった。子どもたちの課外授業としてもよいのでは。

交通対策について

- 町から中央バスに赤字の支援をしている状況なのか。
- 減便することでの観光面の影響や訪日外国人対策を考えるべき。

岬の湯しゃこたんの運営について

- 経営はどうやっても3千万円の赤字になるのか。
- 今後の修繕費はどれくらいかかるのか。
- 譲渡先がない場合は今までどおり町が運営していくのか。
- 赤字でも病院など町になければならないものもある。

ごみ処理対策について

- クリーンセンターは活用しているのか。
- 布団やパソコン、スプレー缶の処理方法は。
- 沿道にレジ袋ごみ袋が散乱している。立て看板など設置してはどうか。

移住・定住対策等について

- 就農支援対策の間口を広げたり、観光PRをもっとしたら移住者が増えるのではないのか。
- 新規就農者が来ても住むところがないので後継者対策が進まない。

※この他に町民の皆さんからいただいた多数の貴重なご意見は今後の町行政に役立てていきます。

～ 町民の素朴な疑問【ごみ処理費】に答えて！～

■ “ごみ処理にかかる費用” と “町民の負担” の状況は？

<収入 (H 29) >

(単位：千円)

項目	金額	備考
一般廃棄物処理手数料	5,596	・指定ごみ袋売払による収入 ・燃やせるごみ等 10 L～40 L H29 13,358組
一般廃棄物処分手数料	40	・クリーンセンター自己搬入分 ・平成29年度処分量 3,795kg
合計	5,636	

<支出 (H 29) >

(単位：千円)

項目	金額	備考
塵芥収集事業	28,632	燃やせるごみ、燃やせないごみ、廃プラ、リサイクル物の収集業務委託料など
最終処分場維持管理事業	19,096	クリーンセンター管理費など
北しりべし廃棄物処理広域連合負担金	14,914	燃やせるごみ焼却費、建物建設負担金など
合計	62,642	

・収入 563万6千円－支出 6,264万2千円
= **▲ 5,700万6千円 (赤字)**



町民税や地方交付税などの一般財源で賄われています。

・ごみ袋の収入 559万6千円は、ごみ処理費全体の約1割！

<主な町税収入 (H 29) >

(単位：千円)

税目	収入額
町民税	76,448
固定資産税	63,594
軽自動車税	4,090
たばこ税	17,115
入湯税	11,419
合計	172,666

ごみ処理費 (不足分)
5,700万6千円



これは、平成29年度の
主な町税収入 1億7,267万円の
約3割に相当！

ごみ収集費 (塵芥収集事業)
2,863万2千円



町民税 7,644万8千円の
約4割に相当！

■ 町民に協力してほしいことは？

ごみ処理費用を減らすには・・・

- ・「生ごみ」は水気をよく切って出すようにしましょう。
→ 「ごみの重さ」で焼却費用が決まるからです。
- ・ペットボトルはラベルを剥がしてから出しましょう。
→ 処理費用の削減につながります。



■ 今、町が改善を検討している事項は？

タンス・ソファなどの家具類や布団などの粗大ごみは、解体や切断をして出さなければならないため、高齢者だけでなく、若い人でも処理に困っています！



「粗大ごみ」の排出基準の変更（ごみの形状・重量・収集体制・費用など）について、町条例の改正の検討を急いでいます。